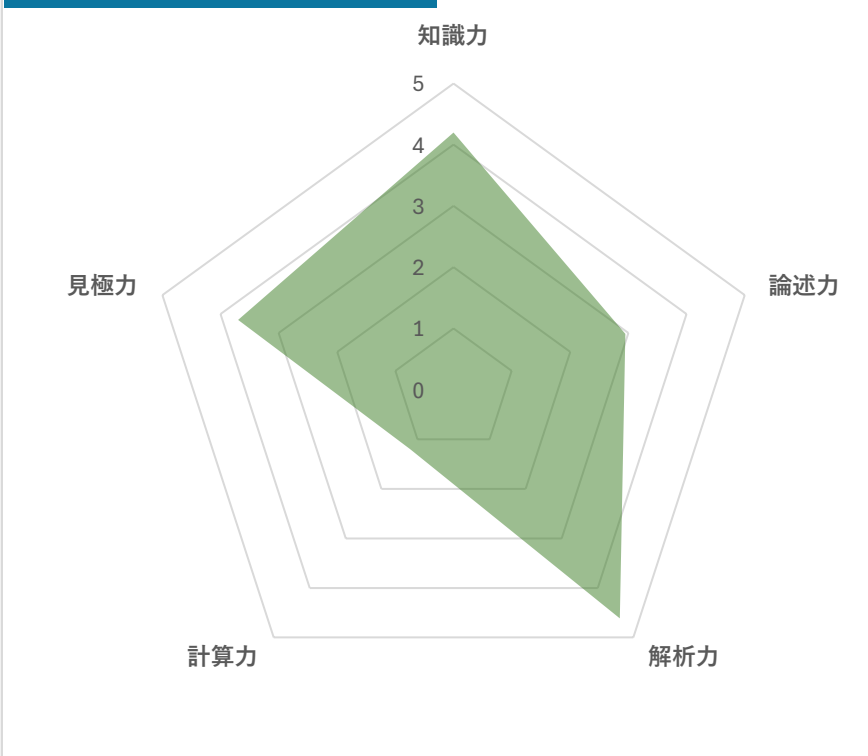


総合分析

試験区分	一般 (前期)
------	---------

制限時間	60分 (理科 2 科120分)	大問数	全 3 問
------	------------------	-----	-------

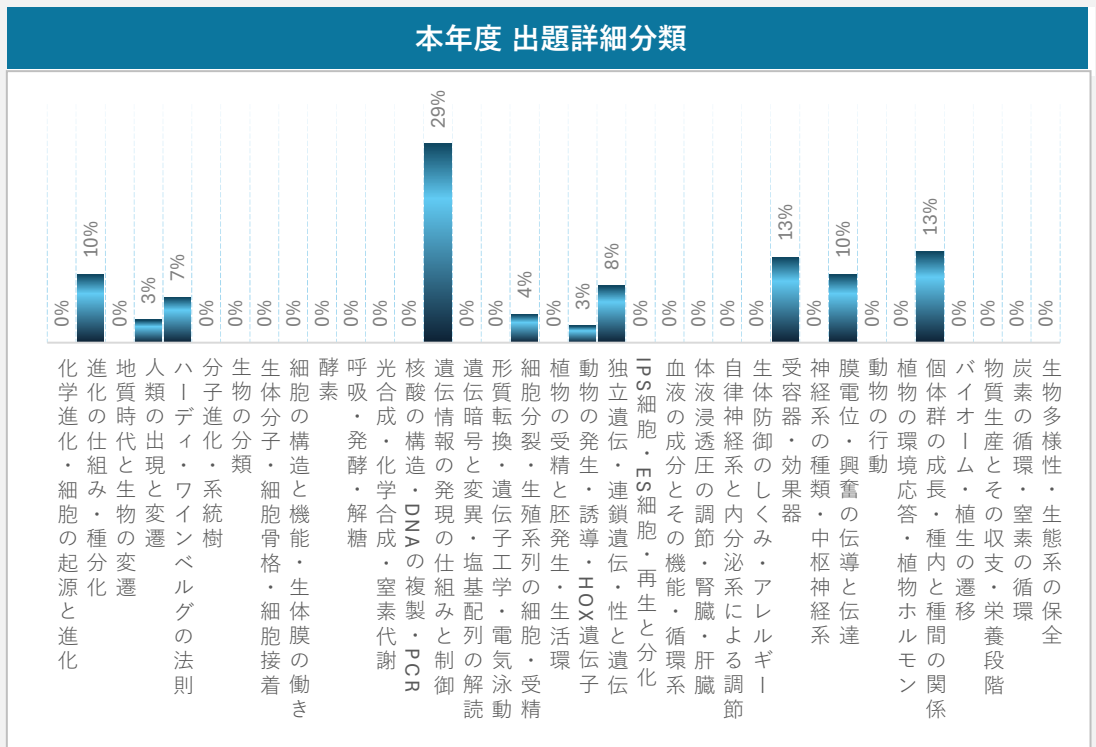
合格に要する能力 (5段階)



出題分野	
系統と進化	20%
生命現象と物質	0%
遺伝子	29%
生殖と発生	15%
生物の環境応答	23%
生態	13%

本年度 解答形式	
論述	75%
選	

本年度出題テーマ一覧	
第 1 問	生物の進化, 個体群
第 2 問	骨格筋と筋収縮
第 3 問	昆虫の性決定, ボルバキアの感染



合格に要する能力 (5段階)		
知識力	4.0	出題分野の幅広い知識を有するか
論述力	2.8	設問の指定に沿って的確に記述する力
解析力	4.4	図表データなどから分析・解析する力
計算力	1.0	式を組み立て、正しく計算する力
見極力	3.5	難度を判断し、適切に時間配分する力

特殊問題の有無	数理生物学なし	生物物理なし	ノーベル賞なし	範囲外問題なし	長文論述なし
---------	---------	--------	---------	---------	--------

特記事項	特になし
------	------

総合評価

難度	3.3	最難を 5 とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率 (予想)	59%
分量	65分	完答に要する時間 (制限時間は60分)	やや多い	標準	

**入試の特徴と対策**  
標準的なバランスのよい問題で、高校での学習で十分に対応できる。

**入試から見る 大学が求める学生像**  
大問3題で構成されており、例年第3問が難しい。長いリード文と多くの実験データを読み取る必要がある。また、問題文だけでなく、選択肢の文章も考察の方針のヒントとなる。広い視野をもち、多角的に問題を捉える心構えが要求される。